

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【公開番号】特開 2019-51050 (P2019-51050A)

【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2017-177280 (P2017-177280)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 2 月 15 日 (2019.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行う遊技機であって、

少なくとも第 1 動作と第 2 動作とを検出可能な検出手段と、

演出に関する設定状態を第 1 状態または第 2 状態に設定可能な設定手段と、

演出実行条件が成立したときに特定演出を実行可能な特定演出実行手段とを備え、

前記特定演出実行手段は、

前記第 1 状態において、前記検出手段の検出結果にもとづいて前記演出実行条件が成立したとして特定演出を実行可能である一方、

前記第 2 状態において、前記検出手段の検出結果に関わらず前記演出実行条件が成立したとして特定演出を実行可能であり、

前記設定手段は、可変表示の実行中に前記検出手段の検出結果にもとづいて前記第 1 状態から前記第 2 状態に設定を変更可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(1) 本発明による遊技機は、可変表示を行う遊技機であって、少なくとも第 1 動作と第 2 動作とを検出可能な検出手段と、検出可能な検出手段（例えば、プッシュボタン 1 2 0）と、演出に関する設定状態を第 1 状態（例えば、オートボタン機能が無効に設定されている状態）または第 2 状態（例えば、オートボタン機能が有効に設定されている状態）に設定可能な設定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 がステップ S 7 1 0 や S 8 2 5 を実行する部分）と、演出実行条件が成立したときに特定演出（例えば、ボタン予告演出 A ~ C や、決めボタン演出において、プッシュボタン 1 2 0 の操作が検出されたことにもとづいて、ゲージ表示の目盛を減少させる表示や、予告表示や当否表示の表示を行うことなど）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 がステップ S 8 1 4 4 , S 8 1 5 3 , S 8 1 7 4 や、S 8 1 1 8 , S 8 1

3 3 を実行する部分) とを備え、特定演出実行手段は、第 1 状態において、検出手段の検出結果にもとづいて演出実行条件が成立したとして特定演出を実行可能である一方、第 2 状態において、検出手段の検出結果に関わらず演出実行条件が成立したとして特定演出を実行可能であり (例えば、オートボタン機能が有効に設定されているときには、プッシュボタン 1 2 0 の操作が行われなくても、予告表示の表示や当否表示の表示、ゲージ表示の目盛を減少させる表示などが行われる。図 3 6 ~ 図 3 7、図 4 3 ~ 図 4 4 等参照)、設定手段は、可変表示の実行中に検出手段の検出結果にもとづいて第 1 状態から第 2 状態に設定を変更可能である (例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 1 0 0 がステップ S 7 1 0 3 ~ S 7 1 0 4 の処理を実行する部分) ことを特徴とする。

そのような構成によれば、興味が低下することを防止することができる。